

10 2026
月25日
NO. 106

たつの 市議会だより



コスモス街道（撮影場所：新宮町平野公民館前）

CONTENTS

令和7年度各会計決算認定	2, 3 P
9月定例会のあらまし	4～6 P
一般質問に7名の議員が登壇	7～10 P

主な議会の動き・議会活動報告	10～11 P
12月定例会のお知らせなど	12 P

令和7年度 各会計決算認定

令和7年度の一般会計、特別会計、企業会計の各決算認定について、9月定例会の会期中に決算審査を行い、本会議において、全件を認定しました。

一般会計 決算	歳入	442億6,276万2千円
	歳出	418億6,021万2千円
	歳入歳出差引額	24億 255万 円
	実質収支額※	17億6,557万2千円

(※歳入歳出差引額から翌年度繰越財源6億3,697万8千円を除いた額)

令和8年

9月 定例会

会期／
8月26日～9月29日
35日間

たつの市では、予算決算特別委員会を設置し、
3つの分科会に分かれて決算を審査しています。

予算決算特別委員会

総務生活

総務生活分科会

- 一般会計
- 土地取得造成事業特別会計
- 揖龍公平委員会事業特別会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療事業特別会計

福祉文教

福祉文教分科会

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 病院事業債管理事業特別会計

経済建設

経済建設分科会

- 一般会計
- たつの市水道事業(企業会計)
- たつの市下水道事業(企業会計)
- たつの市国民宿舎事業(企業会計)

総務生活

一般会計

総合計画策定事業

Q 事業者へのアンケート調査を実施しているが、どのようなアンケートを実施し、どのように計画策定に生かすのか。

A 今回初めてウェブ方式による事業者アンケートを実施し、業種、従業員数、今後の経営方針や経営課題、今後注力したい取組などについて意向を調査した。アンケート結果を踏まえ、地域産業及び地場産業に関する事業者ニーズを把握し、今後の諸施策に反映していきたいと考えている。

ふるさと応援寄附金受入事業

Q 前年度と比較して寄附件数、及び寄附額が減少しているが、今回の減少についてはどのような要因なのか。

A 主な要因としては、令和7年10月からのポータルサイトのポイント付与廃止による影響に加え、物価高騰に伴う返礼品価格の上昇、力キの不漁により力キを返礼品として取り扱えなかったことなどが挙げられる。

開催日
9月 1日
9月 8日

不法投棄撲滅事業

Q 不法投棄監視協力員として登録されている市民ボランティアは、どのような活動を行っているのか。

A 日常生活における不法投棄の発見、市への通報、市が実施する不法投棄防止事業への協力をお願いしているところである。



後期高齢者医療事業特別会計

Q 後期高齢者医療の保険料が5年間で約3億円増加した要因や今後の被保険者数の見通しについて、どのように分析しているのか。

A 団塊世代が75歳以上となり、国保等から後期高齢者医療へ移行したことで被保険者数が増加したことが保険料増加の主な要因と分析している。今後は、団塊世代の移行ピークが終わることから、被保険者数の増加は緩やかになると見込んでいる。

福祉文教

開催日

9月 2日
9月 9日

一般会計

母子家庭等自立支援事業

Q 対象者は何名であったのか。また、どのような資格を取得し、その後、どうなったのか。

A 対象者は、3名で、理学療法士、看護師、介護福祉士の資格を取得し、現在就職されている。

がんゼロ作戦事業

Q がん検診の若い世代へのさらなる周知をどのように考えているか。

A がん検診の無料クーポンを節目年齢に送付し、勧奨している。また、各種教室、講座等においての個別勧奨やLINE等の配信による受診勧奨及びクーポン券未利用者への再勧奨など様々な機会に周知を行っている。



未来にはばたく児童生徒応援事業

Q 事業の実施により授業時数の確保など、学校に新たな負担となったのではないか。

A 適宜、臨時校長会を開催し、事業計画段階から学校と十分な協議を行い、理解を求めた上で実施した。

人工芝多目的グラウンド整備事業

Q グラウンドが完成した際のイベントなどの検討はあるか。

A 完成の際にこけら落としイベントを実施したい。

国民健康保険事業特別会計

特定健康診査等事業

Q たつの健康サポートプログラムについて、事業の内容はどのようなものか。

A 特定保健指導対象者に対し、動機付け支援と積極的支援として、面接、電話、支援レターの送付を行うものである。

介護保険事業特別会計

介護用品支給事業

Q 対象者の要件はどのようなものか。

A 市内に住所を有し、市民税非課税世帯で、自宅で生活している要介護4又は5の寝たきりの高齢者としている。

経済建設

開催日

9月 3日
9月10日

一般会計

ベビー木育ギフト事業

Q 反響はどうか。

A 申込割合は94%、贈呈数は373件となり、対象とならない保護者や、これを見た市外の方からも直接業者へ問合せをするなど、好評であると受け止めている。

創業支援事業

Q これまでの補助件数は何件か。また創業支援後、3年間事業を継続しないといけないと思うが、その途中で閉業された事業者は今までおられたのか。

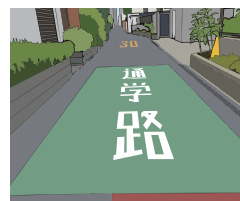
A 制度創設から47社が創業されており、3年を経過した後に廃業された事業者はいるが、いま現在の事例はない。

交通安全施設整備事業

Q カラー舗装とあるが、これはグリーンベルトのことか。また、自治会等からの要望で工事をされているのか。

A カラー舗装は、グリーンベルトのことであり、各小学校から教育委員会に提出を受けた危険箇

所に対して、通学路安全対策プログラムに基づいて、教育委員会、道路管理者、警察が協議、対策の推進を図っている。



竜野駅周辺整備事業

Q 竜野駅北側の駐輪場が、今の駐輪枠では収まっていけないのが現状であり、北側の駐輪場を広げる必要があると思うがどうか。

A 国道2号沿いの駐輪スペースに空きがあるため、そちらへ誘導しており、周知徹底できるよう取り組んでいく。

住まいの耐震化促進事業

Q 各地で地震が起こっているが利用状況はどうか。

A 高額な工事ということもあり6棟の実績であるが、今後もPRに努めていく。

国民宿舎事業会計

Q 志んぐ荘の定員稼働率が20%前後で推移していることについてどのように認識しているのか。

A 定員稼働率は高くないが、これを向上させることが収益と利用者の増加となるので、事業者に対して尽力をお願いしている。

令和8年度会計別補正予算の内容



補正予算を可決

今回の補正予算は、国から交付される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市民生活への支援など、緊急やむを得ない事情により、一般会計で総額1億1,652万1千円の補正予算を可決しました。

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計	1億1,652万1千円	439億8,910万3千円
介護保険事業特別会計	259万6千円	74億 585万9千円

主な補正内容

- **家庭用防犯カメラ設置支援臨時経済対策事業** 1,410万円
物価高が続く中で、家庭用防犯カメラの購入及び設置に要する経費に対し補助を行うことにより、消費下支えを通じた生活者支援と防犯対策の強化を図る。
- **市税過年度過誤納金還付事務事業** 5,165万1千円
市県民税の配当割・株式譲渡所得割控除に係る控除不足額の還付に伴う還付金の追加
- **認定農業者育成支援事業** 1,132万5千円
県補助事業採択に伴う補助金の追加
- **LPガス利用者支援臨時経済対策事業** 2,505万円
物価高が続く中で、LPガス料金の高騰により増大する一般家庭等の負担軽減を図る。

定例会で可決した議案

市長提出議案

同意案件	4件
条例改正	5件
その他	4件
補正予算	2件
決算認定	10件

委員会提出

意見書	1件
-----	----

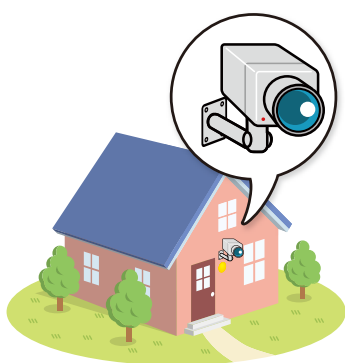
請願・陳情

請願	1件
----	----

家庭用防犯カメラ設置支援臨時経済対策事業

● 家庭用防犯カメラの購入及び設置に要する経費に対する補助というところであるが、市民に対して申請を促すためどのようなPRを行うのか。

▲ 10月1日の事業開始後、記者発表を行うほか、市ホームページ、市広報、防災・防犯ネット、LINEなどを活用して周知していく。



市税過年度過誤納金還付事務事業

● 市県民税に係る配当割・株式譲渡所得割額の市税還付金について、当初予算額を大幅に上回る見込みとなり、約5千万円を増額補正することであるが、対象は何件で、なぜこれほど大きな還付金が発生したのか。

▲ 3件の株式の大口取引に係る還付申告が発生したためである。



同意案件

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員のうち、1名の任期が11月17日で満了となるため、後任として新たに任命することに同意しました。

嘉ノ海 仁士 氏【新任】

(龍野町水神町)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員3名の任期が11月17日で満了となるため、引き続き3名を選任することに同意しました。

小畑 亨一 氏【再任】

(龍野町富永)

久野 喜作 氏【再任】

(龍野町島田)

堀 次夫 氏【再任】

(龍野町日飼)



財産の取得

赤とんぼ文化ホール吸収式冷温水機を更新

開館以来29年が経過し、耐用年数も経過していることから、経年劣化による不具合が生じた場合、公演・貸館利用者に多大な影響を及ぼすことから更新します。

【契約の相手方】

湊ハマ株式会社

【契約金額】

3, 814万8千円

はりま新宮小中一貫校のスクールバス7台を購入

令和10年4月開校予定のはりま新宮小中一貫校において、安全な通学環境を確保するため、小学生を対象としたスクールバス運行に必要な車両を購入します。

【契約の相手方(45人乗り3台)】

井上自動車工業株式会社

【契約金額】

6, 689万3, 100円

【契約の相手方(29人乗り4台)】

神戸日野自動車株式会社

【契約金額】

3, 640万3, 880円



工事請負契約を締結

人工芝多目的グラウンド整備第2期工事に係る工事請負契約

地域スポーツの活性化を図ることを目的に昨年度から整備を進め、第1期の整地工事が完了したことから、第2期工事として人工芝の設置工事を行います。

【契約の相手方】

秋元建設株式会社

【契約金額】

2億7, 903万3, 220円

条例を改正

たつの市部落差別の解消の推進に関する条例の一部を改正する条例制定について

本市では、平成29年に「たつの市部落差別の解消の推進に関する条例」を制定し、部落差別のない社会の実現に向けた取組を進めてきました。

しかしながら、インターネットの普及に伴い、同和地区の所在地に関する情報がインターネットに拡散されるなど、部落差別をめぐる状況は依然として

深刻です。このような状況を鑑み、市民自身が担う役割と責任を条例上に明確に位置づけ、市と市民が一体となって部落差別の解消をより実効的に推進するため、所要の改正を行います。

たつの市体育施設条例の一部を改正する条例制定について

本年10月に利用を再開する新宮スポーツセンターについて、改修後の施設構成にあわせて、使用料等の規定を改正します。

また、現在工事中の人工芝多目的グラウンドが、本年度末に完成することから、使用時間(午前6時から午後7時まで)や使用料(1時間2, 500円)等の規定を新たに追加するほか、市外居住者の使用料加算に係る適用除外地の規定を「相生市・上郡町・佐用町・穴栗市」とし、近隣市町との整合を図ります。



▲新宮スポーツセンター

請願採択

自衛隊員の恩給制度の創設等に関する請願書

【請願者】

松本 道彦 氏

【紹介議員】

船引 宗俊 議員

請願採択に伴い、総務生活常任委員会から意見書案が委員会提出され、全会一致で可決し、内閣総理大臣ほか、国の関係機関へ意見書を提出しました。

請願事項に対して付託された総務生活常任委員会からの意見

Q 自衛隊員の恩給制度の創設等となっているが、現状の制度において具体的にどのような部分が不足しているのか。

A 自衛官が国や国民を守る特殊な任務に従事しているにもかかわらず、その職務に見合う十分な保障がないことを問題としている。国は再就職支援に力を入れているが、再就職後に現役時と同等の収入や生活水準を維持できているとは限らず、特に若年定年退職者には経済的な負担も大きい。そのため、単に再就職率だけを見て処遇が十分であるとするのは実情と異なり、現状の制度では自衛官への保障・支援は十分とはいえない。



※意見書の内容は上記のQRコードかぎりで確認ください。

●令和8年第4回定例会 全会一致で可決等した議案

議案等の名称		議案の説明
同意	たつの市教育委員会委員任命の同意を求めることについて	5ページのとおり
	たつの市固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて (同意第19号～第21号)	
条例	たつの市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例制定について	地方自治法施行規則の一部を改正する省令施行に伴い、当該省令に定める条項を引用する条例の一部について、所要の改正を行うもの
	たつの市税条例の一部を改正する条例制定について	地方税法等の一部を改正する法律が令和8年3月31日に交付されたことに伴い、令和8年4月1日以外の施行期日となる部分に係る条例について、所要の改正を行うもの
	たつの市部落差別の解消の推進に関する条例の一部を改正する条例制定について	5ページのとおり
	たつの市体育施設条例の一部を改正する条例制定について	
	たつの市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について	龍野インターチェンジ周辺地区における土地区画整理事業区域の一部を商業地から産業地に変更することに伴い、本地区計画区域内における計画地区の区分を追加するとともに、建築物の制限を変更するもの
	財産の取得について	5ページのとおり
その他	財産の取得について	
	財産の取得について	
	工事請負契約について	
補正予算	令和8年度たつの市一般会計補正予算 (第2号)	4ページのとおり
	令和8年度たつの市介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	
決算認定	令和7年度たつの市一般会計歳入歳出決算認定について	令和7年度各会計について、決算を認定 (2～3ページに主な質疑を掲載)
	令和7年度たつの市土地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	
	令和7年度たつの市揖龍公平委員会事業特別会計歳入歳出決算認定について	
	令和7年度たつの市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
	令和7年度たつの市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	
	令和7年度たつの市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
	令和7年度たつの市病院事業債管理事業特別会計歳入歳出決算認定について	
	令和7年度たつの市水道事業決算認定について	
	令和7年度たつの市下水道事業決算認定について	
	令和7年度たつの市国民宿舎事業決算認定について	
請願	自衛隊員の恩給制度の創設等に関する請願書	上記のとおり
委員会提出	自衛官の恩給制度の創設・処遇改善を求める意見書の提出について	

Q&A 持続可能な地域農業の実現に向けた農業振興について



柴田 将之 議員
MASAYUKI SHIBATA



農業振興について

問 農業従事者の高齢化や担い手不足、農業経営体の減少についてどのような課題があるかと認識しているのか。

答 耕作放棄地をはじめ、用排水路や農道などの農業用施設の適正な維持管理、地域の伝統行事の継承など、様々な課題が生じるものと認識している。

問 農業振興施策についてどのような指標で成果を検証・評価したか。

答 第2次たつの市総合計画後期基本計画において、「認定農業者数」、「新規就農者数」、「人・農地プランの策定地区数」を指標として設定し「農業整備基盤の整備と担い手育成」の施策について、検証・評価を行っている。

認定農業者数は目標値100人に対し96人、新規就農者は目標値11人に対し6人となっている。

る。また人・農地プランは、地域計画に移行したため、地域計画の策定地区数を指標としており、目標値148地区に対し85地区となっている。これらの結果から農業の担い手の中心となる認定農業者や地域農業を支える担い手を確保することが課題であると認識している。

問 農業振興施策の検証結果をどの計画に反映させるのか。

答 今後策定する第3次たつの市総合計画をはじめ、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想などの見直しに反映させ、新規就農者の確保に向けた施策や地域計画の強化に取り組んでいく。また本市の農業の現状や課題に即した、本市独自の農業振興に関する計画の策定について検討を進めていく。いずれにしても農業者や関係機関と連携し、担い手の確保・育成に向けた取組を推進し、将来にわたって農地を守り、持続可能な地域農業の実現に向けた農業振興を図っていく。



Q&A 今後の防災・災害対策と教育環境整備について



三木 浩一 議員
KOICHI MIKI



教育環境整備と学校建設基金の新たな設立について

問 教育条件整備の意見交流会でどのような要望が出たのか。年々進む老朽化に伴う修繕費等の予算要求はどのようなものか。また、将来の学校建設の財源確保のために、毎年出ている多額の教育費の不用額を、新たな基金を設立して積み立ててはどうか。

答 校舎の床面・エアコン・児童用ロッカー・手洗い・エレベーターなどが要望にあった。改築で対応しなければならぬものもある。本年度の修繕費は昨年度の約6割増の約5千万を措置している。安全確保のため緊急を要する場合は補正予算も考える。学校建設や大規模改修は、既設の公共施設整備基金で対応できるため新たな基金の創設は考えていない。

防災・災害対策について

問 進化が進む防災用品・備蓄品等の更新とそれらの取り扱い方の周知はどのようにしているのか。迅速な対応をするためにも近隣のより多くの自治体との連携とシステムや書類等の共有化が必要だと思うがどうなっているのか。

答 一万人に対応できる必要物資を計画的に備蓄している。取り扱いは、防災訓練や出前講座・イベントで周知し、職員にも訓練を実施している。市単独で購入困難なものは10市町によるワーキンググループで検討している。また、応援協定を結んでいる市町とは情報交換や伝達訓練を実施している。

改正社会福祉法について

問 社会福祉法が改正された。新たに支援が必要とされる方々の把握と体制はどうなっているのか。

答 頼れる身寄りがない高齢者に対する支援の充実のため支援の必要な方の把握等、関係機関と連携して包括的な支援体制を充実させていく。



田中 基康 議員
MOTOYASU TANAKA



童謡赤とんぼ・露風の発信パワーアップ／子育て支援としてのデジタル人材育成
かたのシティプロモーション

問 たつの全国ブランドへの目玉として、童謡赤とんぼ、三木露風と生母碧川かたを題材としたドラマ化・映画化をプロジェクト化すべき。その一体的な発信を、ドラマ化映画化に留まらず、訪れたくなる住みたくなる、たつの戦略的シティプロモーションに結びつけるべき。

答 プロジェクト化はしないが、赤とんぼ、露風、碧川かたは全国に誇る資源。「まち未来創生戦略」の基本目標「人口還流」の主な取組「観光振興と魅力発信」への位置づけを検討中。さらなる魅力発信は、観光誘客、定住・交流・関係人口の増加につながるため、地域の持続的な発展の戦略的な取組を行う。

問 子育て世代のデジタル人材として働きやすいスマートワーク都市へ
子育て世代のデジタル人

材育成の取組や講座を実施できないか。保育充実に留まらず、子育て中でも場所や時間にとらわれない働きやすさやテレワーク、産業面の人材不足に貢献する環境づくりが重要。「子育て×デジタル人材×産業・スマートワーク」を結ぶ戦略視点で、子育て世代の移住定住、人口政策に組織横断で取り組むべき。

答 デジタル人材育成の取組や講座は実施していないが、子育て世代を含めた就労支援と人材確保に積極的に取り組む。テレワークに特化せず仕事と子育てが両立できる取組も調査研究する。審議中の「まち未来創生戦略」では分野や組織を超えた包括的取組を視野に入れている。

一般廃棄物最終処分場からの有害物（有機フッ素化合物）

問 指針超えの対策強化、隣接民間工場との調査連携について。

答 緊急対策を実施した結果、放流水の検出値は大幅に低減。中長期的対策として放流水の確実な浄化管理の継続、データの詳細分析、現地調査を通じた科学的・技術的検証を進め、検査結果の公表等、わかりやすい情報発信に努める。また、県と連携し、隣接の民間施設への調査協力を図る。



山本 直人 議員
NAOTO YAMAMOTO



テント式多目的ドームの整備について

問 約1,500人規模のテント式多目的ドームについて調査・研究する考えはあるか。

答 天候に左右されず、様々な活用ができるため、交流人口の増加や地域経済への波及効果が見込める施設として、整備の提案を民間から募集するサウディング調査の実施について検討する。

問 国・県の補助制度や民間活力、企業連携を含め、実現する可能性を検討する考えはあるか。

答 サウディング調査の実施の検討の中で、PFIをはじめとした官民連携による整備手法や国・県の補助金制度のほか、建設費や維持管理費等について調査・研究を進める。

問 防災面での活用を含めた多目的施設として検討する考えはあるか。

答 施設機能集約を進めることとしている「たつの市公共建築物再編実施計画」との整合がとりにくいことや、厳しい財政状況から将来の課題としたい。

生活保護制度の適正な運用について

問 生活保護開始時の審査について。

答 申請に至った経緯・生活状況等の聞き取り、収入・資産・扶養義務者の調査、自宅訪問を行った上で、生活保護法による保護の基準に照合し、要否判定を行っている。

問 受給開始後の現状確認について。

答 国の通知を基に作成した年間訪問計画により、世帯類型や助言・指導の必要性に応じ、訪問、調査を行っている。

問 生活保護の停止・廃止の主な理由について。

答 停止の主な理由は収入の増加で、廃止の主な理由は死亡、市外への転出、就労等である。

問 適正な制度運用について。

答 法令・保護の基準・通達を網羅した生活保護手帳の活用、年間訪問計画に基づく訪問、調査の実施、毎年兵庫県の監査を受けるなど、適正な制度運用を行っている。

Q&A たつの市防災計画の「災害に強いまちづくり」について問う



赤木 和雄 議員
KAZUO AKAGI



近年、集中豪雨、線状降水帯といった尋常ではない雨の降り方が日本列島を脅かしている。本市の防災計画「大切な命と地域を守る」取組が重要であるとの考えから以下を問う

問 排水機場、アンダーパスなど排水機の点検管理は適時行われているか。

答 出水期の点検は月2回、非出水期は月1回の動作確認に加え、定期的に専門業者による点検・整備を実施している。

問 排水能力の十分でない道路側溝、堆積土砂の多い河川の対処について、各自治会と情報共有を行い、適切に維持管理を行う必要があると考えるがどうか。

答 日常の道路パトロールや自治会からの情報提供により、状況を把握し、必要に応じて清掃や浚渫を実施し、機能維持に努めている。

県が起債許可団体に転落、本市への影響について問う

問 県の所管する道路、河川等の公共事業、県の補助事業等、本市への影響について問う。

答 西播磨市町長会、同議長会を通じて、本市に関連する県事業の穴栗新宮線大鳥踏切以北の宮内バイパス。龍野中央幹線4車線化に向けた設計、本龍野富永線道路拡幅等が遅滞なく進められるよう要望活動を実施した。

国の進める副首都計画について問う

問 政府の進める副首都計画に兵庫県と神戸市に連携を求め、播磨科学公園都市を準拠点とした、副首都構想に名乗りを上げてもらえるよう、県と神戸市に働きかけを行っては如何か。

答 兵庫県、神戸市においては、手を挙げる予定はないと言及している。今後、国において選定に向けた具体的要件や基本方針が示されるなか、県及び神戸市が指定要件を満たすのか。また、申請する意思があるか等、動向を注視し本市の対応を検討する。

その他の質問事項

●事業継続計画（BCP）の取組について。

Q&A ICT・データを活用した鳥獣被害対策 について



柏原 要 議員
KANAME KASHIHARA



近年、市内各地域でイノシシやシカによる農作物被害が続き、多くの農業者や地域住民から深刻な声が寄せられている。一方で、捕獲従事者の高齢化や担い手不足も進んでおり、これまでの経験や技術にICTやデータを加え、効率的で持続可能な鳥獣被害対策を進める必要がある

① 鳥獣被害の現状について

問 令和5年度から7年度までのシカ・イノシシによる農作物被害額、被害面積、捕獲頭数の推移と、現在の被害状況を市としてどのように評価しているか。

答 農作物被害額、被害面積は令和4年度から減少傾向にあるが、捕獲頭数は横ばいで、依然としてシカ、イノシシによる被害は深刻である。被害面積、出没状況などを総合的に捉え、対策の効果を検証していく。

② ICT・GISを活用した対策について

問 通信型センサーカメラ、捕獲通知装置、ICT箱かな等を活用し、GIS等で被害・目撃・捕獲場所を二元的に地図上で可視化し、分析する仕組みを構築する考えはないか。

答 ICTを活用し、限られた人員でより効果的に対策を行うことは、今後ますます重要である。GIS等による仕組みの構築は、捕獲従事者の負担軽減や効率的な捕獲につながることを考えており、先進事例等を参考に調査・研究していく。

③ 鳥獣被害防止計画の「スマート対策」の位置付けについて

問 ICTを活用した捕獲、センサーカメラによる出没把握、GISによる被害・捕獲情報の一元管理、捕獲従事者の負担軽減等を計画に明確に位置付けるべきではないか。

答 ICTとデータの活用は極めて有効であると認識している。本市の鳥獣被害対策には、効であると判断した場合には、次期の鳥獣被害防止計画内に明記し、具体的な施策として位置付けることを検討していく。



小松 精二 議員
SEIJI KOMATSU



子育て世帯の経済的な負担軽減について

問 令和8年度施政方針では、人口減少への対応が直面する最大の課題であり、いかに人口減少のスピードを抑えるかである。逆に、子育て世帯への「子どもが増えていくために必要なこと」のアンケートでは、経済的な負担軽減と回答した割合が84・1%であります。

今年度より国によって小学校の給食費の無償化に対する支援が創設されました。これまで、小学校給食費に充当していた財源を就学前の3歳児から5歳児に充当してはどうでしょうか。

答 国において、少子化対策として学校給食の無償化に取り組む自治体と未実施の自治体に格差が生じていることから、全国一律の制度とするため、「給食費負担軽減交付金」が創

設された。

本市ではその交付金相当額については、幼児施設の給食に係る保護者負担の軽減や、小・中学校の給食費完全無償化等有効に活用している。引き続き、保護者の経済的な負担軽減について検討していく。

揖保川グラウンドの改修について

問 揖保川グラウンドの使用実績が非常に少ないのが現状である。

原因は、老朽化及びフェンスの低さが低いため隣接地にボールが飛び込む等、環境・安全面に問題があると思われるため改修してはどうか？

答 利用者からの意見を聴取し検討する。

問 併せて、人工芝の敷設も考えられないか。

答 多額の費用を要するため困難であるが、利用者の利便性を高める施設になるよう検討する。

その他の質問事項

●都市計画道路本龍野富永線の事業進捗について

主な議会の動き



7月30日(木) 子育て支援・少子化問題調査特別委員会(事務調査)

8月6日(木)、7日(金)

地域産業・観光戦略調査特別委員会国陳情

19日(水) 議会運営委員会

全員協議会

26日(水) 第4回定例会(第1日)

予算決算特別委員会全体会

子育て支援・少子化問題調査特別委員会(事務調査)

9月1日(火) 総務生活常任委員会・分科会

2日(水) 福祉文教常任委員会・分科会

3日(木) 経済建設常任委員会・分科会

8日(火) 総務生活分科会

9日(水) 福祉文教分科会

10日(木) 経済建設分科会

15日(火) 議会運営委員会

17日(木) 第4回定例会(第2日)

18日(金) 第4回定例会(第3日)

25日(金) 予算決算特別委員会全体会

29日(火) 第4回定例会(第4日)

10月2日(金) 議会広報委員会

6日(火) 8日(木)

福祉文教常任委員会管外行政視察

7日(水) 9日(金)

総務生活常任委員会管外行政視察

13日(火) 15日(木)

経済建設常任委員会管外行政視察



議 会 活 動 報 告

7/16 経済建設常任委員会が所管事務調査を実施



観光客が来る魅力的な施設の調査及び観光地の整備（駐車場トイレ含む）について調査をするため、龍野公園周辺の現地視察を行い、都市計画課及び観光振興課から説明を受けました。

7/23 地域産業・観光戦略調査特別委員会が県陳情を実施



▲兵庫県庁にて陳情書を手交

皮革排水処理経費に対する財政支援について、守本副知事に陳情を行いました。

7/30 子育て支援・少子化問題調査特別委員会が事務調査を実施



子育て支援アプリ「たつのこナビ」について調査を実施し、健康課から説明を受けました。

8/26 子育て支援・少子化問題調査特別委員会が事務調査を実施



一時保育・病児保育・病後児保育について、妊娠・出産支援について及び子育てつどいの広場・ファミリーサポートセンターについて調査を実施し、幼児教育課、健康課及び児童福祉課から説明を受けました。

8/6・7 地域産業・観光戦略調査特別委員会が国陳情等を実施



▲総務省にて陳情書を手交

8月6日（木）には山口壯衆議院議員秘書にご引率いただき、国土交通省（前処理場の改築等に係る補助金の財源確保について）、総務省（皮革排水処理経費に対する財政支援について）、経済産業省（皮革産業振興施策の拡充について）に陳情を行いました。また、8月7日（金）には池畑浩太郎衆議院議員にご同席いただき、議員会館にて農林水産省水産庁の職員から「牡蠣のへい死に係る対応など」について研修をしていただきました。



▲議員会館での研修

行政視察の受け入れ

議会では、本市の特色ある事業等について、全国の自治体議会・議員の行政視察の受け入れを行っています。

7/ 9 岐阜県瑞浪市議会 総務厚生学教常任委員会

- ・はつらつベビーまごころ便について
- ・たつのこナビについて

7/23 青森県五所川原市議会 総務常任委員会

- ・空き家対策事業について

8/ 5 山形県上山市議会 産業厚生常任委員会

- ・空き家対策事業について



▲青森県五所川原市議会 総務常任委員会視察受け入れの様子



今号の表紙

タイトル

撮影者 たかくら すずむ 高倉 進さん 新宮町在住 写真クラブ PHOTOMO (フォトモ) 所属
撮影場所 新宮町平野公民館前

秋の農繁期を終え公民館前の休耕田にコスモスを毎年咲かせ、コスモス祭りが開催される写真。花畑の中の農道が中学・高校の通学自転車道となり秋の澄み切った空気感の中を走る学生達がサイクリングを楽しんでいる様に見える心地良い。

※表紙は紙面の都合上、トリミングしています。

12月定例会のお知らせ(予定)

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0791(64)3177

定例会の開催日程及び内容は次のとおりです。

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24	25	26	27	28
				本会議1日目 全体会		
29	30	12/1	2	3	4	5
		総務生活 常任委員会 ・分科会	福祉文教 常任委員会 ・分科会	経済建設 常任委員会 ・分科会		
6	7	8	9	10	11	12
				本会議2日目 (一般質問)	本会議3日目 (一般質問)	
13	14	15	16	17	18	19
		全体会		本会議4日目		

(注) 全体会…予算決算特別委員会全体会 分科会…予算決算特別委員会分科会

市民意見交換会の実施希望団体を募集します

市政への政策提言等に反映させるため、常任委員会では、市民意見交換会の実施希望団体を募集しています。市内の各種団体で、意見交換を希望される場合は、議会事務局へお問い合わせください。

議会事務局

TEL 0791 (64) 3177

✉ gikai@city.tatsuno.lg.jp

あなたのご意見をお聞かせください!!

議会広報委員会では、見やすくわかりやすい紙面づくりに取り組んでいます。

市民の皆さまにご意見をお聞かせいただき、今後の議会だよりの編集に反映したいと考えています。ご意見は議会事務局までお寄せください。

議会事務局

TEL 0791 (64) 3177

FAX 0791 (62) 4949



たつの市イメージキャラクター「赤とんぼくん・あかねちゃん」

インターネット・スマートフォンで録画映像を見よう!!

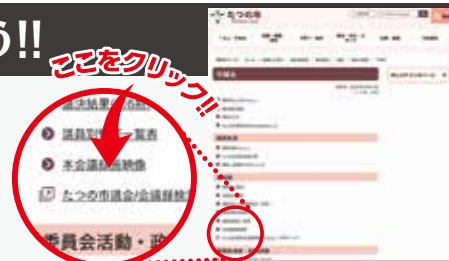
市議会では、市民の皆さまに議会を身近に感じていただくために、本会議の録画映像をインターネットで配信しています。

たつの市議会 検索

スマートフォンはこちらから →



議会だよりにQRコードで閲覧できます。



議会広報委員会

委員長 肥塚 康子
副委員長 山本 直英
委員 松本 良三
委員 宗實 雅典
委員 田中 基康

デスクメモ
朝夕は涼しくなり、待ちに待った秋がやってきました。皆様、夏の疲れは身体に蓄積されていませんか。さて近年は気象や災害だけではなく、様々な分野において、これまでの「常識」が通用しない時代がきているように感じます。本年も日本各地で台風や線状降水帯による甚大な水害が相次いで発生しました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。私たちのふるさとである「たつの市」においても、いつ大規模な自然災害が発生してもおかしくありません。一人一人の危機意識を高め、知恵を共有していくことが、被害を未然に防ぐために何よりも大切だと感じています。ハザードマップの確認をはじめとする日頃の備えはもちろん、身を守るための手段を身につけておきましょう。私たち議会といたしましても、より一層の防災・減災対策の推進に努めてまいります。また、議員一人一人の資質を高めながら、これまでの慣例にとられない創造的な取り組みを進めることで、本市のさらなる発展に寄与できるよう全力で努力してまいります。これから朝夕の寒暖差が大きくなってまいります。体調を崩されませぬよう、心身ともに健康にお過ごしください。皆様の引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

■発行 たつの市議会 ■編集 議会広報委員会 〒679-4192 兵庫県たつの市龍野町富永1005-1 TEL 0791 (64) 3177

■令和8年10月25日発行

<https://www.city.tatsuno.lg.jp/>